プロジェクト憲章

プロジェクトマネジメント演習

2015年4月24日

矢吹研B班

メンバ

PM 1342045 川手元稀

　　　　1342081　　辻岡大知

1342073　　杉山喜彦

1342029　　遠藤一輝

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| PM確認 | シニア承認 | ユーザー承認 |
|  |  |  |

目次

[1．名称 1](#_Toc419465084)

[2．プロジェクトの背景と価値 1](#_Toc419465085)

[3．目標と最終成果物と検収条件 1](#_Toc419465086)

[4．成果物 2](#_Toc419465087)

[5．ステークホルダと体制図 3](#_Toc419465088)

[6．予算と期間とマイルストーン 4](#_Toc419465089)

[7．前提条件と制約条件 4](#_Toc419465090)

# 1．名称

「QRコードを使い，野菜の詳細情報を伝えるシステム．」

# 2．プロジェクトの背景と価値

2.1プロジェクトの背景

スーパー田隈の野菜売り場は野菜生産者と専属契約を結んでいる．契約の一部として，価格の設定のため，野菜の生産者が入荷した野菜の出来栄えについての報告をするように決めている．ある時，スーパー田隈は消費者まで情報を伝えることにより信頼性の向上とそれによる販売促進効果に繋がると考えた．そのため，消費者に効率的な情報を伝えるシステムの当社に依頼をした．

消費者に伝える情報は，生産者の氏名と写真，生産地，出荷日，出荷時のコメントである．それらを広告や値札に印刷することは場所を取る．更に，野菜は劣化が早く，紙での伝達速度では対応しきれない．そのため，より効率的な手段としてデータベース上に消費者に伝える情報を入力，更新する．その情報を消費者に伝達する手段として，当社はQRコードに着目した．QRコードならば広告や値札に記載しても場所をとらず，毎日変化する野菜の入荷速度にも対応できる．

2.2 価値

　・野菜の鮮度がより明確になる．

　・安心して消費者は野菜を購入できる．

　・野菜の生産者とスーパー田隈の信頼度が上がる．

# 3．目標と最終成果物と検収条件

3.1 目標

　スーパー田隈の顧客に効率的に野菜の詳細情報を開示できるようなサポートシステムを開発する．

3.2 最終成果物

・スーパー田隈の野菜の詳細情報がわかるデータベース及び計画書，設計書，マネジメント関連の報告書．

・QRコード作成システムの情報を公開しているサイトとリンク．

3.3 検収条件

・システムの動作テストに合格する．

・ユーザーによる検印を貰う．

# 4．成果物

* 要件定義書
* プロジェクト計画書
* 中間発表資料
* 外部設計書
* 仮契約書
* コスト見積書
* 本契約書
* 内部設計書
* プログラム
* テスト計画書
* テスト報告書
* 納品書
* マニュアル
* QCD評価報告書
* マネジメントレポート
* 最終発表資料

# 5．ステークホルダと体制図

5.1 ステークホルダ

・ユーザー：田隈　広紀様

・シニアマネジャー：矢吹　太朗

・プロジェクトマネージャー：川手　元稀

・メンバー：辻岡　大知

　　　　　　　杉山　喜彦

　　　　　　　遠藤　一輝

図１　体制図

ユーザー

田隈広紀

シニア

矢吹太朗

PM

川手元稀

メンバー

杉山喜彦

辻岡大知

遠藤一輝

連絡

開発班

矢吹C班

企画班

# 6．予算と期間とマイルストーン

6.1 予算

・720時間　（4名×12時間×15週）

6.2 期間

・2015/04/17～2015/07/24

6.3 マイルストーン

・2015/05/08　プロジェクト計画書とコスト見積書と仮契約書

・2015/05/29 外部計画書とテスト計画

・2015/06/05 中間発表資料と引き渡し書

　　・2015/06/12　プロジェクト計画書の見直しと正式のコスト見積書と本契約書

　 ・2015/07/03 内部計画書とプログラムとテスト報告書

　 ・2015/07/10　納品書とマニュアルとQCD評価報告書

　 ・2015/07/17 評価発表

　 ・2015/07/24　プロジェクト評価発表とマネジメント・レポートと最終発表資料

# 7．前提条件と制約条件

本プロジェクトにおける前提条件，制約条件を記載する．

　7.1プロジェクトの前提条件

　 ・予算と期間とマイルストーンに記載された工程日程に基づきプロジェクトを推進する．

・プロジェクトメンバは全員12時間/週をプロジェクトに費やし，10週間以上維持でき

ることを前提とする．

　7.2プロジェクトの制約条件

・プロジェクト開始時には顧客との契約は無く，プロジェクト計画書，仮コスト見積書の確認後田隈様と仮契約を結ぶ．

・矢吹C班に引継ぎ後にプロジェクト計画書を見直し，正式なコスト見積書の承認後本契約を結ぶ．